ゆうじんかい

医療法人　雄仁会　広報誌

発行元
医療法人　雄仁会

〒８７８－００１３
大分県竹田市大字竹田１８５５
☎　０９７４－６３－２３３８
ＦＡＸ　０９７４－６３－２３３９

創刊号　平成１６年２月

雄仁会　基本理念

**私たちは、患者様とその家族に対し、
相手の立場を常に尊重し、
質の高い医療と看護･介護を通じて、
地域社会に貢献できる医療法人を目指します。**

雄仁会　紹介

医療法人　雄仁会　加藤病院は、昭和２６年に設立され、交通の便に恵まれた街の中にありながら、前面には名水豊かな稲葉川が流れ、緑豊かな山々に囲まれ四季折々に味のある風景が広がっている治療環境のもと、地域に根ざした明るく開放的な病院を目指して努力してまいりました。

診療科は精神科、神経内科、心療内科で、病床数２１２床は精神病院、老人性痴呆疾患療養病棟からなり、介護老人保健施設を併設して、地域の医療･保健･福祉を担う医療法人として幅広く活動を展開しています。

医療法人雄仁会はこれからも２１世紀の精神科病院、介護老人保健施設に求められる使命を全うし、地域から信頼される医療法人として貢献してまいります。

発刊に寄せて

医療法人雄仁会　理事長　加藤　一郎

みなさん、新年おめでとうございます。新しい年を迎え希望に胸を膨らませているこの時期に広報委員会の充実した活動の結果、広報「ゆうじんかい」第1号が発刊されることを心から喜び合いたいと思います。今、医療法人雄仁会は地域に開かれ、信頼され、愛され存在感のある雄仁会を目指し職員一同、心を一つにして取り組んでいる次第であります。医療の冬の時代といわれ、医療費の抑制をたてに、難題を生み出している現状を考え、医療法人雄仁会としての運営を次のように考えてみたいと思います。

今後の雄仁会経営は「患者様・家族の方々に信頼され選ばれる雄仁会作りを目指して真剣に取り組んでいくことを再確認しておきたいと思います。医療や看護は「人」がつくり出すものであり、医療の質や看護の質は、それを提供する「人」次第であります。つまり、「人」をいかに動機づけ、いかに育成するか、又、人が生き生きと活動できる職場づくりをどのようにして作るかが大きな課題であります。

その経営理念として患者様・家族の信頼を重視、チャレンジ精神の尊重、地域社会との調和、経営の健全化の4項目を掲げて、職員一人ひとりの創造性を高めると同時にチャレンジ溢れる組織を確立し、個々人の能力、貢献を正しく評価することを人事理念として制度化を図っていきたいと考えています。企業は人なりと言われていますが、病院経営にとっても、まさに人、すなわち人材が鍵を握っています。

信頼される医療サービスを提供するには、医師、看護師、医療技術者などの専門の人材が必要であります。雄仁会の組織は個人の集まりであり、集団であります。この組織の活動を高めていくには、「個」を尊重する。即ち「個」を生かす集団主義が必要であります。一口で言えば「出る杭は伸ばす」仕組みが大切であります。

これからは命令・指示を待ってから動くのではなく、自発的に考え、協調しながら行動することにより、雄仁会の活性化と本年の最大の目標である病院機能評価の合格が達成されると思います。

この1年を充実した取り組みと結果を生み出すことを目標に頑張って行きたいと願い発刊の喜びと致します。

行　事　紹　介

敬老会

家族と長寿を祝う！

竹田市の介護老人保健施設「岡の苑」（黒川桂郎施設長）は平成15年9月30日、同苑ホールで敬老会を開いた。これまで入所者だけで開催してきたことが、今年は、家族らも招いた。
入所や通所のお年寄り70人と、家族23人が参加。職員によるカラオケや皿回しのほか、民謡グループがあでやかな踊りを披露した。お年寄りは、笑顔で手拍子を送りながらステージを満喫。参加者全員で長寿を祝った。
（H15.10.3、大分合同新聞朝刊より）

運動会

医療法人　雄仁会　加藤病院秋期大運動会　盛大に開催される！！

広報委員長　岑　浩

秋の恒例のイベント「加藤病院秋期大運動会」が平成15年10月16日に、多目的グラウンドで開催されました。開会式では、渡邉事務部長さんの挨拶の後、患者様二名が元気よく選手宣誓を行い、白熱した競技が幕を開けました。今回の運動会は麻生俊二イベント委員長ほかイベント委員が中心となり、グラウンドの整備から準備を進め、ご家族も招待して行われ、各競技種目とも大いに盛り上がりました。パン食い競争、フォークダンス、仮装行列など患者様、職員ともにいい汗を流し楽しい一日を過ごすことができました

紅葉狩り

岡の苑　作業療法士　後藤　仁

平成15年11月、神原渓谷方面を2病棟痴呆療養病棟の患者様と共に、ドライブに行ってきました。当日は天気も良く、絶好の紅葉日和となり、日常外出の機会が少ない患者様には、大変良い日でした。神原渓谷の色鮮やかな紅葉等の風景を見ながら、自然と表情も柔らかく、スタッフと共に歌を唄われる患者様や、紅葉・銀杏などの落ち葉拾いをされる方々もおられ、皆様楽しまれており、自然とのふれあいの大切さを改めて実感しました。

クリスマス演芸会

岡の苑　総合主任　後藤美津恵

平成15年12月19日に、「岡の苑クリスマス演芸会」が行われました。職員の扮するトナカイ、サンタクロース,雪だるまでクリスマスムードが盛り上がる中、しらゆり幼稚園の皆さんも駆けつけ、太鼓、ベル、遊戯など披露してくださいました。また、見学にいらした家族の方の飛び入りで「ハーモニカ演奏」も聞くことができたりと、皆さんと楽しい思いでの1ページが出来たひとときでした。

【しらゆりこども太鼓】

ゆうじんかい　情報

学会報告

岡の苑　作業療法士　阿南宏平

平成15年11月9日に別府ビーコンプラザであった大分県病院学会では、病院機能評価を受けるにあたっての、多くの情報を得る良い機会であった。特に機能評価を受けた施設の方の話では、準備は大変だが、受けた後の施設のあらゆる面でのレベル向上に繋がったという話を伺えた。そして各スタッフ一人ひとりも評価を受けると言う事を意識し、日々業務に取り組んでいくことの必要性を確認できた。それと、私の発表も無事終わり、協力して下さった多くの方へこの場を借りて感謝したいと思う。

【発表の様子】

北海道旅行

楽しい思い出となった北海道職員研修旅行

加藤病院　事務部長　渡辺俊二郎

平成15年度の研修旅行は、職員の自主的、体験を重視した内容にして、広大な大自然の中での自然の厳しさ、美しさ、その豊富な魅力を満喫することはもとより、発見の喜びや感動、感激や成就感の味わえるように夏の北海道研修を企画し、北海道の生きた姿が観察でき、新しい知識と経験で創造性が養われ「ものの見方考え方」が大きく変わってきたと思います。故郷とは異なった自然や文化に接して、きっと豊かな情操を育み、また、この研修旅行の間、友人と寝食を共にし、親睦を深め協力し合い、支え合い、励まし合って職場では発見できない素晴らしい個性を認め合いながら友情が育ったことと思います。研修旅行は研修活動を集約する大きな行事であり、計画の段階から多くの方々の協力と雄仁会の経済的支援があって実施されたことに感謝の気持ちを忘れてはならないと思います。この良き思い出は,、時の経過を超えて心を和ませてくれると確信しております.。どうかいつまでも心に残り、意欲の起爆剤となる事を祈っています。

【しらおいポロトコタンにて】

リズムに合わせて

加藤病院　精神保健福祉士　柏木　亜紀

平成15年12月18日(木)雄仁会院内研修にて職員のストレス解消を目的としたストレッチがありました。講師に緒方町在住の下田先生を招き楽しい時間を過ごしました。初めに先生より、簡単な説明のあった後、早速、音楽に合わせて身体を動かしました。最初は、みんな少し照れながらロボットの様なぎこちない動きでしたが、徐々に、慣れてリズムにあわせて動けるようになりました。40分程の運動でしたが、日ごろの運動不足を解消することができ心地よい汗をかくことができました。

こん人！

「笑顔が素敵でよく喋る女性がタイプ」と教えてくれたのは、平成15年10月から常勤で雄仁会に勤務して下さっている甲斐清隆先生です。

甲斐先生は宮崎県高千穂町出身で大分医科大学付属病院精神神経科に入局されていました。趣味は映画鑑賞でわさだタウンのシネフレックスによく出没するそうです。「スタッフのみなさんがとても親切にしてくれるので、大変感謝しています。」とさわやかに話して下さいました。

広報委員長　　岑　浩

ケアマネコーナー

今回は「①介護保険制度　②介護サービスを受けることができる対象者　③介護支援専門員」について、ご説明致します。

介護老人保健施設　岡の苑　ケアマネージャー　荒巻　恵

①介護保険制度とは

介護の負担を社会全体で支え合い、高齢者が出来る限り、住み慣れた地域や家庭で自立した生活を続けることが出来るようにと設けられた制度で、一人一人の状態に合わせた保健、医療、福祉の総合的なサービスが受けられる仕組みになっています。

②介護サービスを受けることが出来る対象者

４０歳以上の方で、第１号被保険者（６５歳以上の方）もしくは、第２号被保険者（４０歳以上６４歳未満の方で初老期痴呆や脳血管性障害等、特定疾患に該当する方）が市町村に申請をし、要支援、要介護１～５に認定された方。

③介護支援専門員（ケアマネジャー）とは

要介護者または、要支援者からの相談に応じ、及び要介護者または要支援者がその心身の状況に応じ、適切な居宅サービス事業者（訪問介護や通所サービス等）及び、介護保険施設等との連絡調整を行います。

質問・ご相談は、随時受け付けておりますので、お気軽にご相談下さい。

岡の苑　居宅介護支援事業所

広報部紹介

はじめまして、広報部です。皆様よろしくお願いします！

委員長　岑　浩
副委員長　後藤　美津恵　本田　恵美子　後藤　仁
委員　古川　直美　後藤　裕貴子　荒内　千和　甲斐　大造　工藤　展代
荒巻　恵　河野　幸治　田中　清子　佐藤　奈緒子　福海　美知代
飛田　ゆきえ

オブザーバー
加藤　一郎（院長）　白水　宗康（副院長）
加藤　隆子（総括部長）　渡邊　俊二郎（事務部長）
堀　真寿子(看護部長)

編集後記

平成１５年１０月に広報委員長に委嘱されましたが広報誌を作ることは初めてで、なかなか要領がつかめませんでした。 今後、よりよい広報誌を作っていきたいと思いますので皆様の御指導をお願いします。今回、広報誌「ゆうじんかい」と仮に名付けましたが、次回の発行までに広報誌名を募集したいと思いますので是非、ご応募下さい！！

広報誌名募集中！
あなたが名付け親！

広報委員長　岑　浩

ご 案 内

加藤病院

診療科

- 心療内科
  （ストレス病、うつ病、不眠症）
- 精神科
- 痴呆専門病棟

診療時間
午前９：００～午後５：００
（日曜日・祝日は休診）
面会時間
午前９：００～午後６：００

岡の苑

介護老人保健施設

- 通所リハビリテーション
- 入所・短期入所
- 痴呆専門病棟
- 訪問介護ステーション
- 指定居宅介護支援事業所

通所時間
午前９：４０～午後３：３０
（日曜日は休み）
面会時間
午前８：００～午後７：００